婦人と新社會

山田わか主筆

十一月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和二年十月二十三日印刷納本

未來の結婚

青年男女の社會化は
家庭の建設から

社會事業と婦人

人口增加は國家隆盛の兆

―編輯の後―

昭和二年十一月一日發行　第九十二號　每月一回一日發行

東京市　婦人と新社會社　發行

未來の結婚

少しでも未來を豫測することが許されるならば、未來の結婚は過去及び現在の結婚に幾分の改良が加へられるでありませう。つまり、結婚の精神と態度には變化があるだらうと考へられます。けれども、結婚に關する法律、又は、經濟上の状態には急激な變化があらうとは思はれません。いはんや自由戀愛が一般に行はれるものとは思へません。それとは反對に一夫一婦のより嚴格な結婚制度が設定されるでありませう。

その外、それに伴つて起る變化は時により折りに觸れてあるに相違ありません。

そして、將來の家庭は思ふに次のようになるでせう。

第一、よりよき選擇が行はれて夫婦が成立する。

第二、よりよき理解とより永久的な愛が生れる。

第三、子供のことをより聰明に考へる。

第四、個性が、殊に、女性の個性が一層發達する。

第五、家族員がより平等になる。

第六、夫婦の作用が一層分業的になる。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

青年男女の社會化は

家庭の建設から

キリスト教がどうの佛教がどうのと血氣にはやる青年達が甲論乙駁口角あはをとばしてゐると私共の一人の友人が『まア〳〵そんなにやかましくいふなよ、今、君達が死ねば君達の親が皆同じように南無阿彌陀佛ととなへて君達を納まるところへ納めてしまうのだから、ウッフフー』と申しましたので青年達が皆口をつぐんでしまつたことがありますが結婚並に家庭の問題に關してもいはゆる新人達や過激思想の持ち主達がいろ〳〵とめんどうな議論を吐いてゐたにもかゝはらず、事實においては皆納まるところへ納まつてしまつてゐるのを見て私は今微笑を禁ずることができずにゐます。

結婚は束縛だの、家庭は牢獄だのといつて見たところで、やつぱり結婚はしなければならず結婚した以上は、やはり、鳥が巢を造るように家庭を造つてしまうから妙なものだと思ふのです。

○

結婚及び家庭以外にも兩性關係は成立します。結婚並に家庭を無視した兩性關係でも性の滿足は得られるでせう。けれども、それだけでは人は精神的に滿足が得られない。何となれば、さういふ關係ではそこに人間味が缺けてゐるからです。そこで、結婚が兩性關係の最高な形式であるといはなければならないのです。

道徳上の問題をぬきにしても、結婚以外の兩性の關係は兩者に決して本當の滿足を與へることはできません。なぜなら、一度關係をむすぶ以上は男女共に相手を全部自分のものにしようとする强烈な慾望を持つのが自然であるにもかゝはらず、結婚以外の兩性關係はその相手が絶えず他の異性に接近する機會を持つてゐるものですから。

故に、結婚及び家庭においてむすばれた兩性關係が最高に滿足的であり、かつ、道徳的であるといふことは議論の餘地がないし、從つて、未來には家庭が破壞されるであらうと、いふようなことは、單なる杞憂であるに相違ありません。

○

人は男でも女でも一人ぎりの生活にはたえられないものです。人は親兄だい姉妹友人及び隣人といふような話し相手を持つてゐるものですが、しかしそれ等の人々とどんなにしたしい間柄をたもつてゐようとも夫または妻といふ親密な關係とは大きな差があります、又女同志の世帶をはつて見たり或は內緣關係の夫婦生活をいとなんだりしてゐる者も少なくありませんが、併し、それは要するに本當の意味の家庭生活の代用物に過ぎない。そして、代用物よりも本物の方がより幸福であり、より健實であるといふことは會て云つて置きました。

○

旅行中で一番樂しい時はいつかといふと、それは歸途についた時であるといふこと、世界中どこをたづねても自分のうちくらゐ居心地のよい所はないといふことは誰でもが承知してゐる所です。

來客を家族的に取扱ふことは最上な優遇法で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あり、雇人に對して家族の一員にするといふことも、亦最高な條件であると考へられてゐることによつて、家庭乃至家族といふことが如何に人間性にかなつたものであり一般に必要とされてゐるものであるかゞ分ります。

結婚が必ずしも幸福だとはいへません。家庭生活に失敗してゐる人も少なくありません。にもかゝはらず結婚及び家庭生活は永久的のものであります。なぜなら、結婚及び家庭生活は人間の根本的の要求を基礎としてゐます。結婚制度の裏面には何千年間の人間の經驗がひそんでゐるのです。

○

けれども、サラリーマンは、多くの場合月給は彼一人の生活に一抄であるから、それをもつて妻子の生活費にあてること即ち家庭を持つことは困難であると考へられてあります。

しかし、彼がまじめに働いてゐる以上は彼の月給は徐々に増加して行きます、まじめに働いてゐるのに結婚をして家庭を造るに足るだけの月給を支給しないならばそれは雇主が非常な不正を行つてゐるのです。

一方においては、又最少限度のつゝましい生活をすれば充分一家を支へ得るだけの收入を持つてゐながら、妻子を持つた時の負擔を考へすぎて獨身生活をつゞけ、一家を一ヶ月支持できるくらゐの金を一晩か二晩のうちに費消してしまつてゐるといふ例も少なくありません。又、職業を持つ婦人は家庭を持つても子供が生れても一度獲得した職業を捨てることはなか〳〵むづかしいようです。勿論、子供を持たないうちは比較的問題は少ないし又子供が生れても職業の種類によつては繼續できるものもありますがしかし、種類によつては全然家庭をかへりみる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

いとまのないのがあります。

○

さういふ場合には家庭は一種の合宿所であつて眞の意味の家庭生活ではなくなります。

かつ、又、妻が一家の經濟を持つことができるために、夫が經濟上の負擔を背負つて立たうとする心の緊張を缺き、職業に熱心になることができず、うちにブラ〳〵してゐて、そして、妻の方が妊娠の重い體で又はちのみ子をうちへ殘して職業に從事してゐなければならないといふような不自然かつ不便な生活を送らなければならないようなことになります。

○

一人では生活できるが妻子があつては足りないといひながら、收入の殆ど全部を一晩か二晩のうちに費消してしまふような馬鹿なことをすると前に申しましたが結婚して家庭を持つた以

上普通人にはそんな馬鹿なことはできなくなるばかりでなく、第一、自分の家庭を持つことによつてなまけ者も勤勉になります。妻子のために自分の最善を盡そうといふ氣分になるのは普通の人の心です。

人が自分の最善を盡そうといふところまで押進められることはどの方面から見ても本當によいことです。活動的な進取的な精神は一大財産であります。

○

昔から『一人口は養へないが十人口は養へる』といふことわざがある通り、一人ぎりの生活は難しいのですから、經濟上から見ても獨身生活よりは結婚生活の方が樂であるし、又、人生航路の道づれとしても利益を全く同一にする夫婦に越したものはないのですが、結婚及び家庭生活においてそれらよりもより重要な利益は子供

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が生れるといふことです。

人が親となるといふことほど責任觀を熱さしむるものは外にありません。

例外は別として、普通、人は親となることによつて始めて人としての洗禮を受けるのだと私は信じてゐます。親としての情を味はふことによつて人間味が本當にゆたかになります。ですから、子供は親達の將來に對する保護者であるともいへるのです。

子供は、又、兩親を社會化する力を持つてゐます。なぜなら、普通、人は自分の子供を持つまでは近隣を始め世間のことには無關心で自分のことにばかり沒頭してゐます。けれども、子供のためを思ふようになると同時に、近隣の狀態を考へるようになります、子供の目に耳に觸るゝものゝ改良を考へるようになります。かくして、兩親は自分の子供を通して社會の改良をねがふようになるのです。

○

子供が老後の樂しみになるといつたならぼ、讀者は『隨分古くさいことをいふ』と思はれるでせう。けれども、この人生に子供といふものがなかつたならばどんなにさびしい生活であるでせう。自分は追び／＼老境に入り、思ふような活動ができなくなつても、自分自身の靈と並に肉體の延長である子供が勇かんに活動するのを見て、心一杯に滿足を覺えるといふことは凡ての老人が經驗してゐることであらうと私は考へてゐます。

子供は必ずしも兩親に滿足を與へるものだとは限りません。不良になることも、病身であつたり、又は、死ぬようなこともあるでせう。がそれでもなほそれが兩親のために無意味には終りません。なぜなら、兩親は二人に共通な苦痛

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

並に悲哀を味はふことによつて相互に對する同情が一層深くなり要するにそれが夫婦の間を一層親密にする手段となります。

ですから、結婚生活者の誤解や失敗や、又は不安な生活やがあつたりしますが、それでも、結婚制度は人間が生存する限り永久に存續するものです。なぜなら、結婚は一時的の便宜のためでもなく他から强制されるものでもなく、實に、人間性の根本的要求に出立してゐます。そして人類がこの地上に生を受けて以來の經驗が信ずるに足る愛情を基礎とした家庭が人間の最大要求を滿たすことを證明してゐます。

社會事業と婦人

眞の意味の社會事業なるものは國民一般の自由と幸福を増進するため、且つ將來の社會秩序の基礎を造ることを眼目としなければならないそして、その精神は社會道徳を増進するものでなければならないと信じます。

マルクス派の主張する如き、徹頭徹尾資本主義に反對し、資本家のしてゐることは其の種類を問はず全部否定するようなことは時代錯誤であることを考へたいと思ひます。

『自由』と云つても其の種類は二種あります。卽ち、英國流の歴史的の自由と、それから、フランス革命から生れた理論的の自由と。

歴史的の自由なるものは國民の歴史的生活を背景とし現在の生活を基礎としてゐるものであ

りますから、それは益々成長して、國民の自由と幸福を益々增進致しますが、これに反して、理論的の自由はだん／＼と制限されてツイには束縛になつてしまいます。國民に滿足を與へる代りに不滿を與へてしまいます。そして、その適例は露國です。

　それと同じく、社會事業にも其の種類が二ツあります。卽ち、理論を基礎とした革命主義から生れた社會事業と、歷史的社會事業卽ち國民の生活を基礎とした社會事業と。

　そして、我が國の社會事業は前者卽ち理論を基礎とする種類の色彩が濃厚ではないかと云ふ憂へがあります。と申ますのは持つてゐる者から持つてゐない者に與へようとする傾向を帶びてゐます。そして、こう云ふ行き方は決して歷史的でない。云ひかへれば、建設的でないのです。

　限りあるものを限りない被救濟者に與へようとすることは不可能であるばかりでなく、被救濟者を墮落させる。卽ち、依賴心を養成することになります。

　働くことによつて結局人は救はれるのですから生產的になるより外に有意義に生きる道は無いのです。たとへば、私娼を多く取扱ふ警察署長が、彼女等を正業に就かしむるの困難を歎じて『如何に訓戒しても處罰しても放しさへすれば彼女等は直ぐに罪を犯す。そして、これは社會が彼女等に對して冷淡であるからだ』と云つてゐますが、併し私の考へる處では、社會が冷淡と云ふよりも本人達が眞面目に働こうとする意志を缺いてゐる處に根本的の原因が潛んでゐるのです。本人達が眞面目に努力して有意義な勞働をする心になりさへすれば社會は決して彼女達を捨てゝは置きません。故に、民衆の救濟

事業は民衆をして働かしむることを第一條件としなければならない。つまり、民衆の態度が將來の社會的行動の基礎となるように、且つ、社會道德を創造するような方針を取らなければならないのです。

　如何なる社會事業も、皆、必要があつて起つたに相違ないのですが、併し、いづれの社會事業にも一ツの缺點がある。即ち、其處に倫理的の要素が大いに缺けてゐると云ふことです。でそれは我が國の社會事業が歐米の社會事業の唯表面的の模倣であるからだと思はれます。

　そこで、我が國の社會事業は根本的に建て直す必要がありはしないか。云ひかへれば、社會事業の倫理的基礎を先づ建設する必要があると思ひます。

○

　現今の此の渾沌たる時代に於て、社會事業が必要であると云ふことは申までもありません。そして、その社會事業には女性の心の働きが加はらなければならないと云ふことも自明の理であります。

　婦人辯護士が話題となつた時に私の友人の一人が『今に法服を着て滔々と法理を說く男らしい女が出るのですね』と申しますから私は『法服を着るのもいゝし、法理を滔々と說くのもいゝが、併し、女が男らしくなつたのでは困る。女は何處までも女らしくて、女及び子供を法律的に保護すると云ふ態度で無くては女が辯護士になる意義が無い男の眞似をする男らしい婦人辯護士など用はない』と云ひました。

　社會事業も亦其の通りで此の事業に參加する婦人は男らしい婦人であつては無意味です。男子とは嶄然別な本當に女らしい婦人が參加してこそ有意義です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○

近時、社會的と云ふ言葉が盛んに用ひられてゐますけれども、この社會的と云ふ言葉はどう云ふ意味でせうか。煎じ詰めて見ればこれは親切と云ふことに外なりません。

「袖ふり合ふも多少の緣」と云つて、行き過ぎようとする未知の人も路傍の石あつかいにしないと云ふ。此の心持ちが要するに社會的と云ふことです。

けれども、近代產業組織は近代人の心を益々忙しくして、さう云ふゆとりを近代人の心から奪つてしまいました。袖ふり合ふ人をも思ひやる親切、即ち、社會的の心が益々稀薄になりつつあるのです。

そこで、民衆の心的及體的の生活に餘裕あらしめよう。彼等の物質的及び精神的生活の向上に資する處あらしめようとするのが要するに社會事業でありませうが、それには、先づ、民衆の家庭生活と云ふ點に附て考へたい。それからもう一ツ忘れてならないことは家庭に於て主婦並びに母の位置にある婦人が最も大きな社會事業に從事してゐる者であると云ふことです。なぜなら、家庭は社會の單位です。家庭が良くなることによつて社會は良くなります。母が母としての任務を充分に盡すことによつて立派な子供、即ち、次代の社會人が養成されます。

家庭を離れてのいろ〳〵の社會機關や、娯樂場や、公園なども市民の生活を幸福にする要素ではあります。けれども、どんなにさう云ふ種類のものが完備しても、其れさへあれば家庭はいらないと云ふ人は一人もありません、あらゆる社會機關は要するに家庭生活の補助に過ぎません。

ですから、社會事業家は、殊に、婦人の社會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

事業家は母の仕事を完成させるための手傳ひをする人、或ひは準備をする人であるのです。

○

本當に社會的に生れ付いてゐる婦人、即ち、全女性の苦樂を自分の苦樂として、理窟でばかりでなく、感じ得るような婦人、又は、相當の年輩になつてから、即ち、自分自身の子供に對しては母としての任務を終り社會の母となつて働こうとするような婦人達が今は我が國にも幾人か現れて居りますが、併し、それ等の婦人達が有効に働くには物質的にも精神的にも大多數の婦人の後援が必要です。

全女性の位置向上のための婦人の運動に大多數の婦人の理解と同情と後援が無いならば、その運動は根無し草で成長することはできません

尤も今までの處では理解され同情され後援されるに足る信用を一般から受け得る婦人が少なかつたと云ふことも事實ですが。

社會事業にしても同じです。全體としての社會の健康と進歩と幸福のためにどんなに努力しようとする人があつても、政府を始め一般からの理解と同情と後援が無ければ其の事業の車は廻りません。殊に、一般の婦人が社會的に無關心であることは此の事業の大障碍であるに相違ありません。

○

一體、婦人であれ、男子でめれ、人のために働くと云ふこと、即ち、公共事業に干與すると云ふことは餘裕――知力にか經驗にか又は金にか――がなければ出來ません。が一人でこれ等の餘裕をかねそなへて居る者は恐らく無いでせう。そこで、團體の必要が起つて來ます。又は政府の力を借りる必要が起つて來ます。

金力に餘裕のあるものは金力を、知力に餘裕

ある者は知力を、經驗に餘裕のある者は經驗を出し合つて共れを組織し運用するのが團體の使命です。或る一ツの餘裕を持つてゐても他の餘裕が無いために仕事が出來ず、折角持つてゐるものを持ちぐされにするかも知れない。ですから、他の餘裕に共の餘裕を結合して使用することは大いに有意義です。

けれども、今、擧げたそれ等の餘裕のうちのどれをも今迄の大多數の婦人は缺いてゐました。

十九世紀の最大發見は民主々義的政府の發見であつたと云はれて居ります。併し、民主々義的政府の下にあつても婦人は依然と奴隷狀態でありました。

婦人の社會上の位置は全然認められて居なかつたのですが、併し、婦人の生れながらの平和を好む性質や生命創造及び保護の任務には犧牲的であつたことや、人命の浪費を恐れ悲しんでゐたことなど、これが人類進歩の生命であり基礎であつたことは事實です。

『婦人の自由と云ふ事は徒らに自己を主張するのではなく、持つて生れた愛の力、云ひかへれば、創造の力を充分に行使し得る自由を云ふのである。そして此の不朽の愛の力によつて男も女も幸福を共にし、此の愛の力、創造の力を子供を通して社會化するのが婦人の重なる仕事なのである。社會の禍は愛があまりに個人化した處に醸されてゐる。私は婦人の愛の力を通して人類の改造を主張する。今迄にも婦人の愛の力は働いてゐた事は働いてゐたが、それは餘まりに一般には消極的であつて人類を潤し輝すにはあまりに微弱であつた。新時代を創造しなければならないこれからの婦人は此の愛を積極的に働かせなければならないのである。人類の救ひの鍵は基督と同じやうに婦人が持つてゐる事を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

信じてゐる。愛の力によつて婦人は男子を人間の本分に歸らしめ、並びに優秀な次代を造つて行かなければならない。愛は全世界を融和し全世界を造り變へる力を持つてゐる。愛は我々の精神的太陽である。」

と私は曾て書いて置きましたが、實に、婦人は社會上何等の位置なく勢力なくても、生命を創造し、愛護し、進歩の基礎を造つてゐたのですから、これだけの素質を持つた婦人が知力的に經驗的に餘裕を持つやうになるならば、人類に貢献する處實に偉大であるに相違ありません

○

私共婦人は生命愛護の精神から一家内の協調者として今日まで働いて來ました。けれども、今後は社會の協調者として働く覺悟を持つ必要があります。

無自覺だと思はれてゐるような婦人でも國家存亡と云ふような危急な場合ひには、日頃生命愛護者であるにも拘らず、隨分、夫や子供を國家に提供して平然としてゐました。

だが、こう云ふ犧牲の精神を今後の婦人は平和な時代に於て社會のために働かせなければならない。つまり、自分自身の家族に對する犧牲的精神の一部分を社會と云ふ家族のために費すので無ければ時代に目覺めた婦人とは云はれない。

そして、あらゆる制度、あらゆる問題は、皆優良な子供、即ち、次代をより優良に造るに資するものであり、そして、その直接の任に當る者は母であり、そして、所謂社會事業家は其の母の仕事を完成させるための手傳ひをする人、乃至は、準備をする人でなければならないと云ふことをもう一度繰り返へして置きます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人口增加は國家隆盛の兆

我が國は世界第一の人口增加率を出してゐると云ふので今や人口問題は單に議論に於てばかりでなく、政府も人口食糧問題解決のため調査會を設けてゐる程でありますが、一體、人口などと云ふものは、これで丁度よいと云ふ處はどの邊か？　その標準を定められるものでもなし、又、事實上常に殖えつゝあるか減りつゝあるかしてゐて平均率を保つてゐると云ふことは無い。そして、減りつゝあるのも問題なら殖えつゝあるのも問題なのですから、どうせ問題にするなら殖えることを問題にした方が確かに活氣があり進歩的であるに反して、減りつゝあると云ふことは淋しいことであり退歩的であると云ふことを私共は考へたい。

産業の發達も國富の增加も人手が無ければ實現できない。

我が國は小さいとは云へ、まだ／＼海に山に發見及び開拓を待つ處が盡大です。發見し、開拓して國富を增す可能性は見えてゐながら、それを實現する頭と手が足りないのです。

ですから、いつかも云つて置きましたが遊食無爲の寄生蟲は一人でも多過ぎると同時に、心的に體的に働く人間はどんなに多くても多過ぎない。

我が國が世界第一の人口增加率を出してゐるならばこの人口を有益に利用して賢い解決に到達し、世界第一に活氣ある賑やかな進歩的な國と爲し、世界に誇りたい。

それから此處に云ひ殘してならないことは我が國民の病人の大部分は食物が少ないためではなく、食ひ過ぎ即ち榮養過多が原因であると云ふことゝ、くだらない產兒制限などゝ云ふ思想がはびこつたために事實はどうであれ、精神的には大いに人口が減退しつゝある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふことです。そして、これが近き將來には必ず事實となつて現れて我が國民は人口大減退の悲哀を必ず味はうでありませう。

編輯の後

幸福の量を多く享有したければそれに匹敵するだけの苦勞と云ふ代價を拂はなければならない。要するに苦と樂は楯の兩面であると私は考へてゐるものでありますが、今度の主人の病氣に際しては其れに對して私が仕拂つた苦勞と云ふ代價以上の大きな收穫を、云ひ直せば、限りなき幸福の盃をもつたいないと思ふ程味ふことができました。

平生、子供達や姉妹達の私共夫婦に對する誠意をみじん程も疑つたことはないのですが、併し、今度、生みの子ではない娘のこま子が徹頭徹尾父親の手となり足となつて云ひかへれば父親のからだの一部分となつて夜となく晝となく看護を盡し、私のからだに幾分でもの餘裕を持たせて私に仕事をさせて吳れたことや私の一人の姉と妹が物質的にも精神的にも出來る限りのことをして病人と私とをいたはり助けて吳れた云ひかへれば娘と姉妹は精神的に物質的に彼女達の全部を私達に提供した其の誠意は實に涙ぐましい程の有がたさです。

フトンの上に寢たまゝ一寸も動くことができなかつた時分には「私の左の手は何處にあるの？」と云つては右の手で空をさぐつてゐた程それ程無感覺になつた、要するに、單なる物塊と化してしまつた左の手足も治療して下さる方達の御親切は別として娘や姉妹の愛情の結晶した力にはとうとう生氣を復活せずにはゐなかつたのです。主人の再生は限りなき喜びではありますが、こう云ふ娘や姉妹が私達にあると云ふことはそれより猶以上の私共の幸福です。

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

▲誌代及郵税は前金の事▲御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと▲郵券代用は五厘切手にて一割増▲廣告は御照會次第御相談いたします

昭和二年十月廿三日印刷納本
昭和二年十一月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區山吹町一九八
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番